

## 「日産自動車株式会社」の北九州市への進出が決定！ 「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」が大きく前進！！ 福岡県が「先進モビリティ」一大生産拠点へ

昨年9月に知事記者会見でお伝えしておりました「日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市）」のLFPバッテリー※製造新工場の立地場所が、この度北九州市に決定しました。

本県では、「自動車」「半導体」「水素」の分野において「グリーン」をキーワードとした「グリーン成長プロジェクト」を推進しています。

CASEと呼ばれる技術革新など100年に1度の大変革期を迎えている自動車産業においては、産学官一体となり、「北部九州自動車産業グリーン先進拠点構想」のもと、「世界に選ばれる電動車の開発・生産拠点の形成」を目指しています。

また、EVの普及に伴い、2030年以降バッテリーの廃棄量も加速度的に増えていくことが予測されており、県では昨年7月に全国に先駆けてEVバッテリーの資源循環システム構築に向け、「グリーンEVバッテリーネットワーク福岡（GBNet 福岡）」を設立し、日産自動車にも参画いただいている所です。

九州にはEVや自動運転に必要な車載半導体や画像センサーなどの先端技術の生産拠点が集積しており、今回新たにEVの心臓部ともいべきバッテリーの工場が本県に立地することで、「北部九州自動車産業グリーン先進拠点構想」は大きく前進し、本県が、世界に選ばれ、未来に向けて成長を続ける「先進モビリティ」の一大生産拠点へと発展していく新時代が幕を開けます。

※リン酸鉄リチウムイオンバッテリー

### 【プロジェクト概要】

工場建設予定地	北九州市若松区響灘エリア
敷地面積	約15万㎡
投資総額	1,533億円
建設開始予定	令和7年度(2025年度)
稼働開始予定	令和10年度(2028年度)
雇用創出	約500名を予定

**日産自動車、福岡県、北九州市、福岡県北九州市若松区響灘エリアにおける  
LFP バッテリーの工場建設に関する立地協定を締結  
～地域活性化と持続可能な産業振興をめざして～**

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田誠)は、福岡県および北九州市と 22 日、福岡県北九州市若松区響灘エリアにおける LFP(リン酸鉄リチウムイオン)バッテリーを生産する新工場建設に関する「立地協定」を締結しました。本協定の締結により、プロジェクトは正式に始動し、地域経済の活性化や雇用創出に大きく寄与することが期待されます。

**プロジェクト概要**

- ・工場建設予定地:福岡県北九州市若松区響灘エリア
- ・敷地面積:約 15 万㎡
- ・投資総額:1533 億円
- ・建設開始予定:2025 年度
- ・稼働開始予定:2028 年度
- ・雇用創出:約 500 名を予定

**日産自動車執行役副社長、チーフモノづくりオフィサー 坂本秀行のコメント**

「九州で生産を開始して 50 年となる節目の年に、電動化の新たな取り組みを九州の地で開始できることに大きな意義を感じています。日産は多様化するお客さまのニーズを満たすため、幅広いラインアップの EV と、LFP バッテリーを含めた競争力の高いバッテリーの開発に取り組んでまいります」

**福岡県 服部誠太郎知事のコメント**

「日産自動車の LFP バッテリー新工場の建設を心から歓迎します。福岡県は、グリーンな先進モビリティの一大生産拠点を目指しています。このたびの新工場立地により、EV にとって心臓とも言える高性能なバッテリーの生産・供給体制が整備されることとなり、本県が推進するグリーン成長プロジェクトが大きく前進いたします。今後、北九州市と力を合わせ、工場の円滑な建設と操業を全力でサポートしてまいります」

**北九州市 武内和久市長のコメント**

「この度は、日産自動車として初めてとなる北九州市での新工場建設を決定いただき感謝申し上げます。北九州市の人口の社会動態が 60 年ぶりにプラスに転じ、大きな転換点を迎えている中、多くの新たな雇用を生み出す今回の新工場建設の発表は、この勢いを加速させるビッグニュースであり、北九州市としても工場の建設・稼働が順調に進むよう、最大限サポートしてまいります」

以 上

お問い合わせ先:

日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーションオフィス

Tel:045-523-5521(企業)/5553(商品)/5520(IR)

global.nissannews.com/ja-JP (プレス情報)